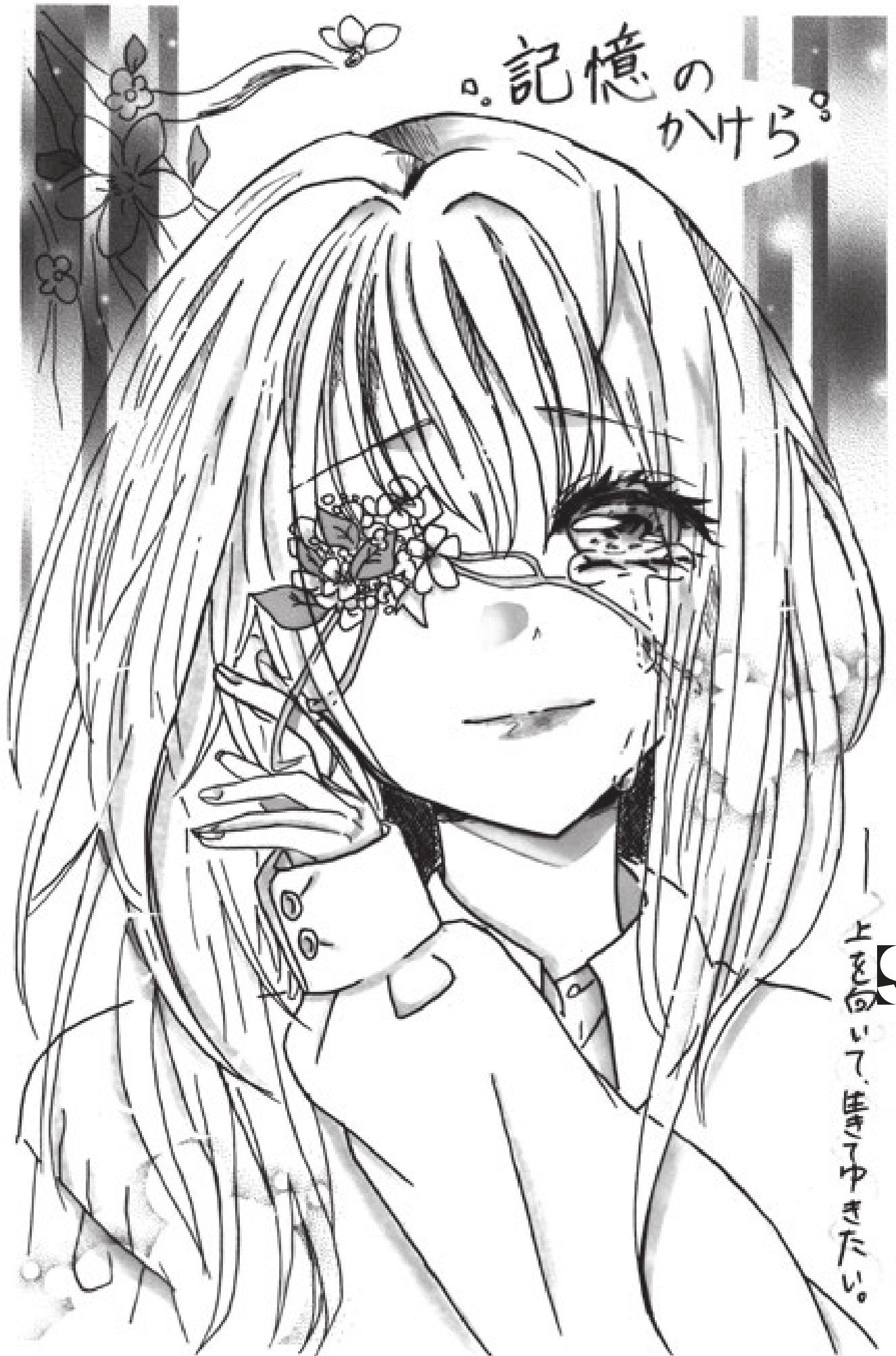


「記憶のかけら」



上を回って、舞をゆきたい。

S

中学生
ストーリーの部

私が住む世界は魔法の世界。

みんな魔法は使っている。

——私以外は……

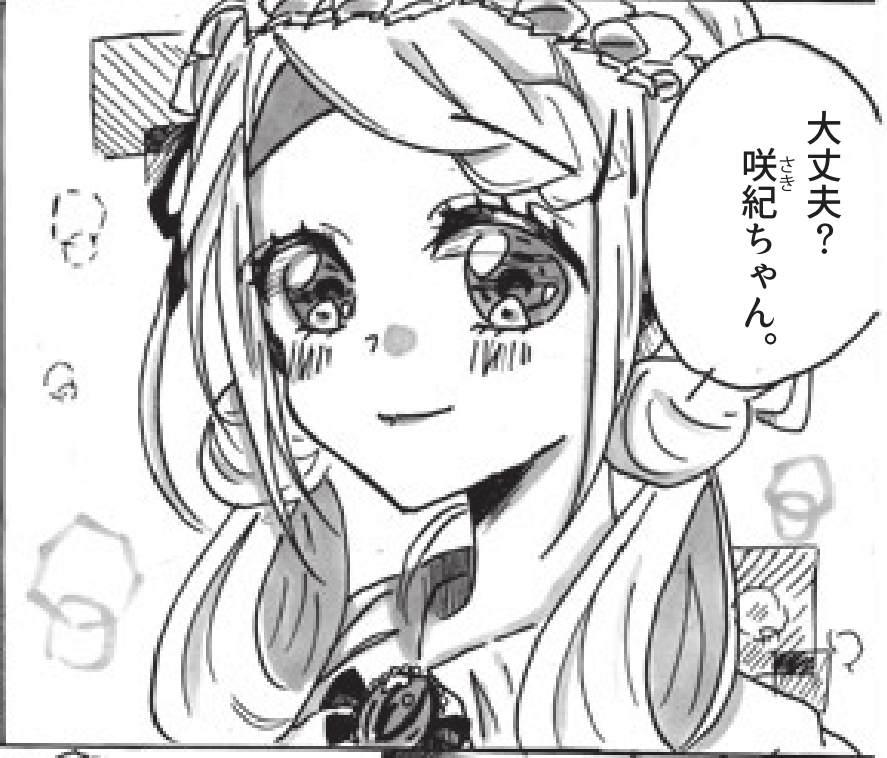
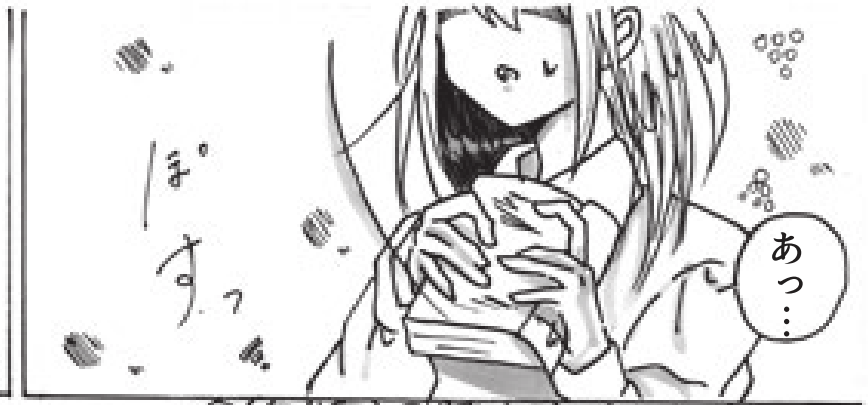
ふぬう……

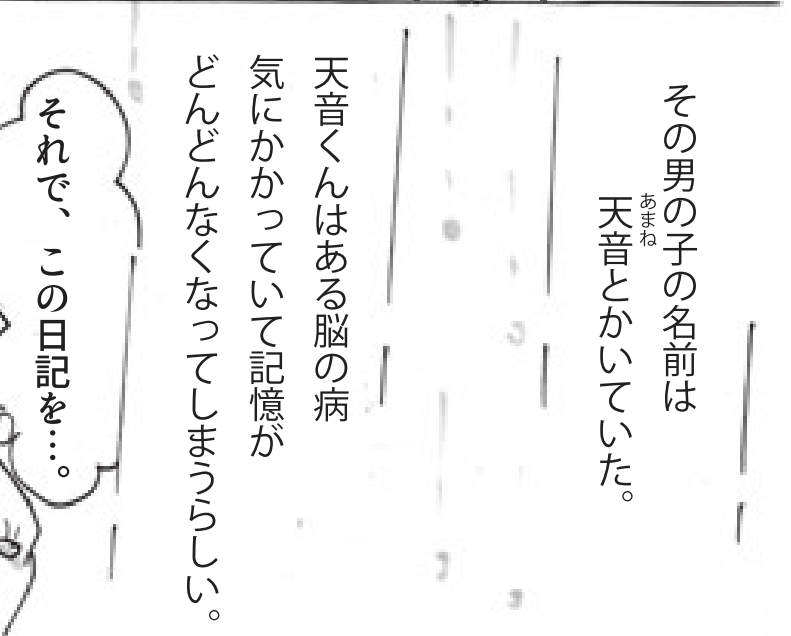
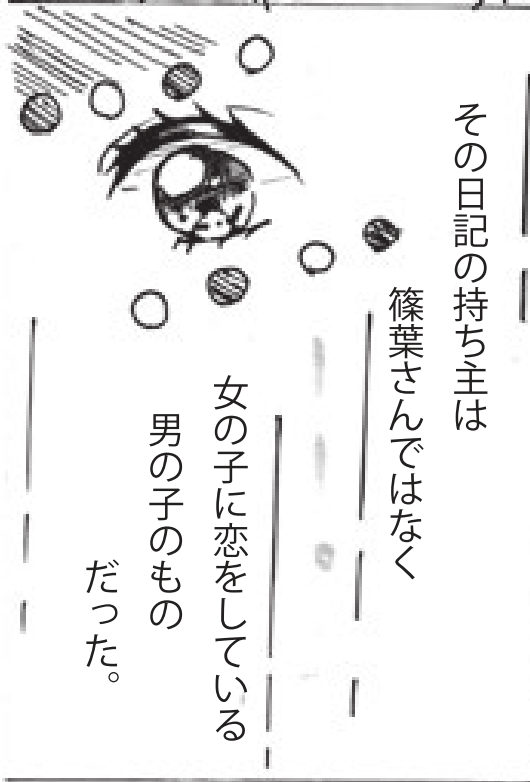
とれない……

S

中学生

ストーリーの部





——12月2日

僕は好きな子と
魔法であそんでいた。



そのこは僕が魔法をみせると
とびっきりうれしそうに笑うので

僕もうれしくなった。

——12月3日

今日とはとびっきり
すてきな魔法を



あのこに見せよう
思っていたが、

具合が悪くて

無理だった。

なんだろう…。

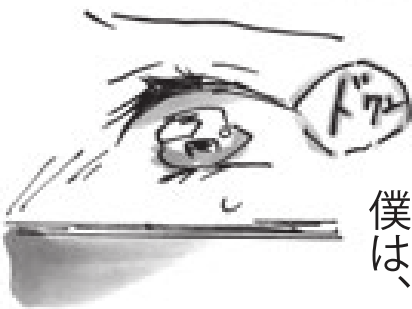
この字…覚えがあるような…



——12月13日

僕は、医者に行ったが、
もう長くはないと
言われた。

だから、



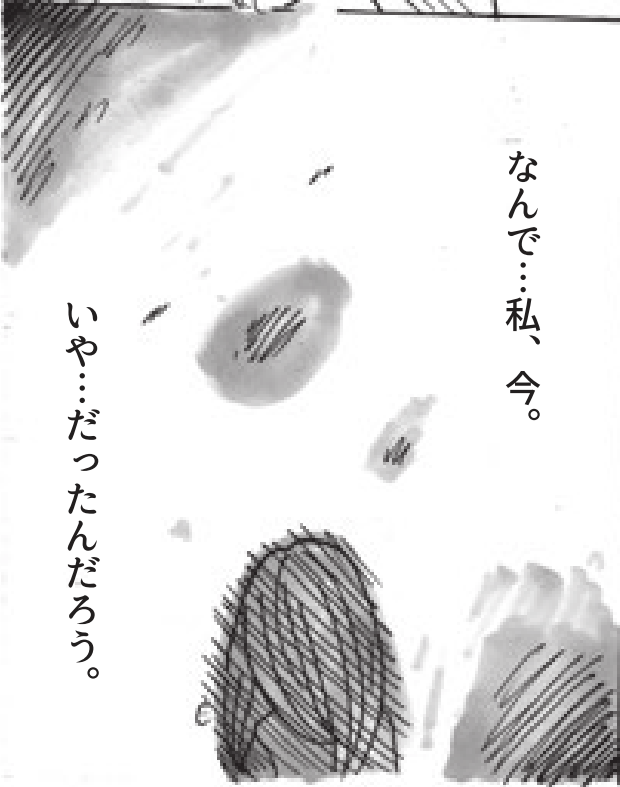
その子に告白した。

「好きだと」



そしたら

そのこは……



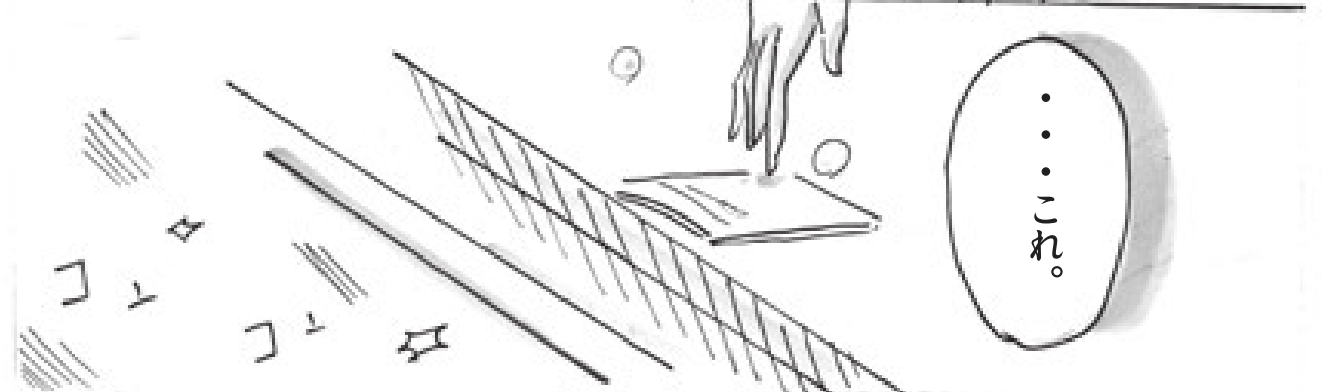
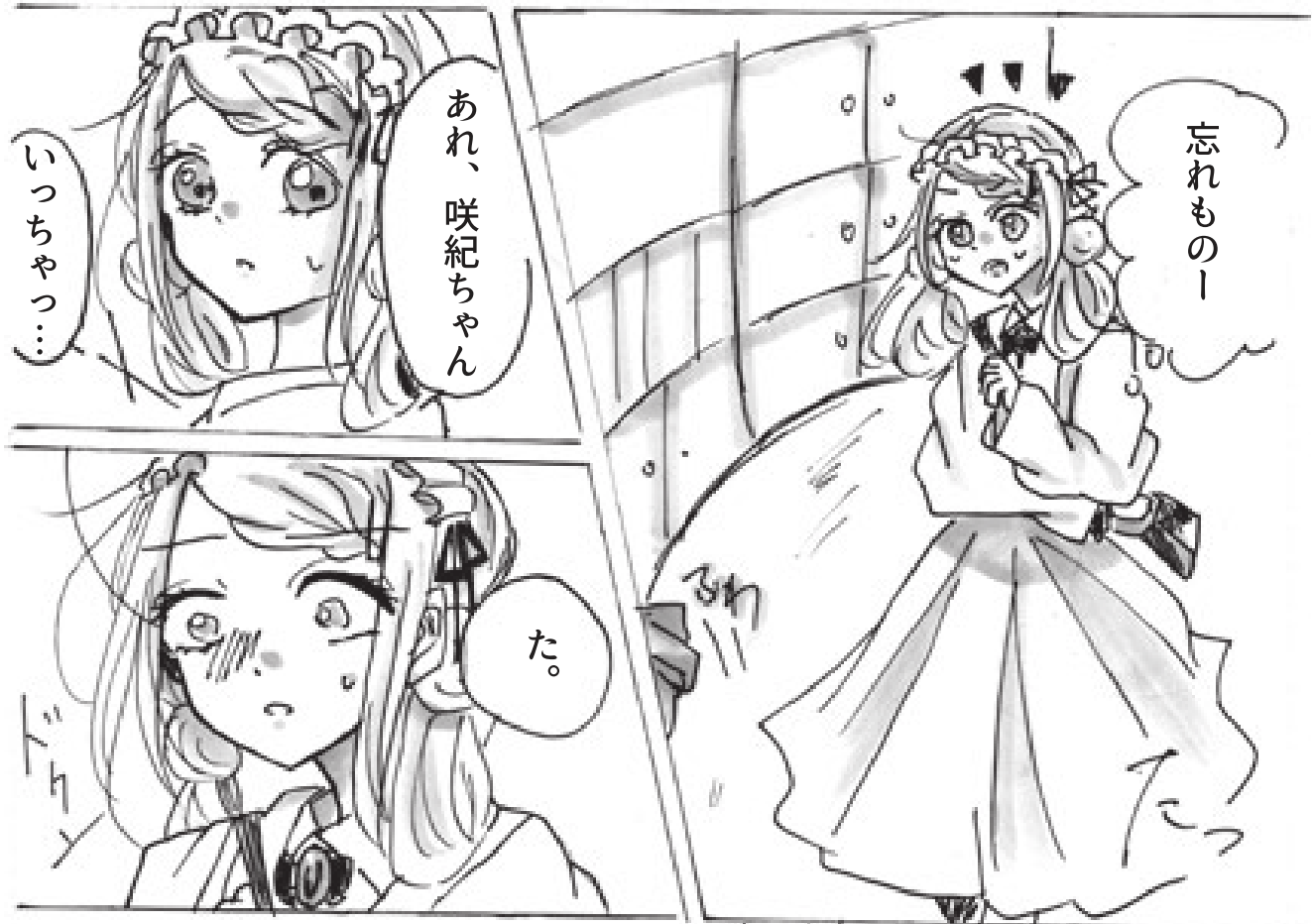
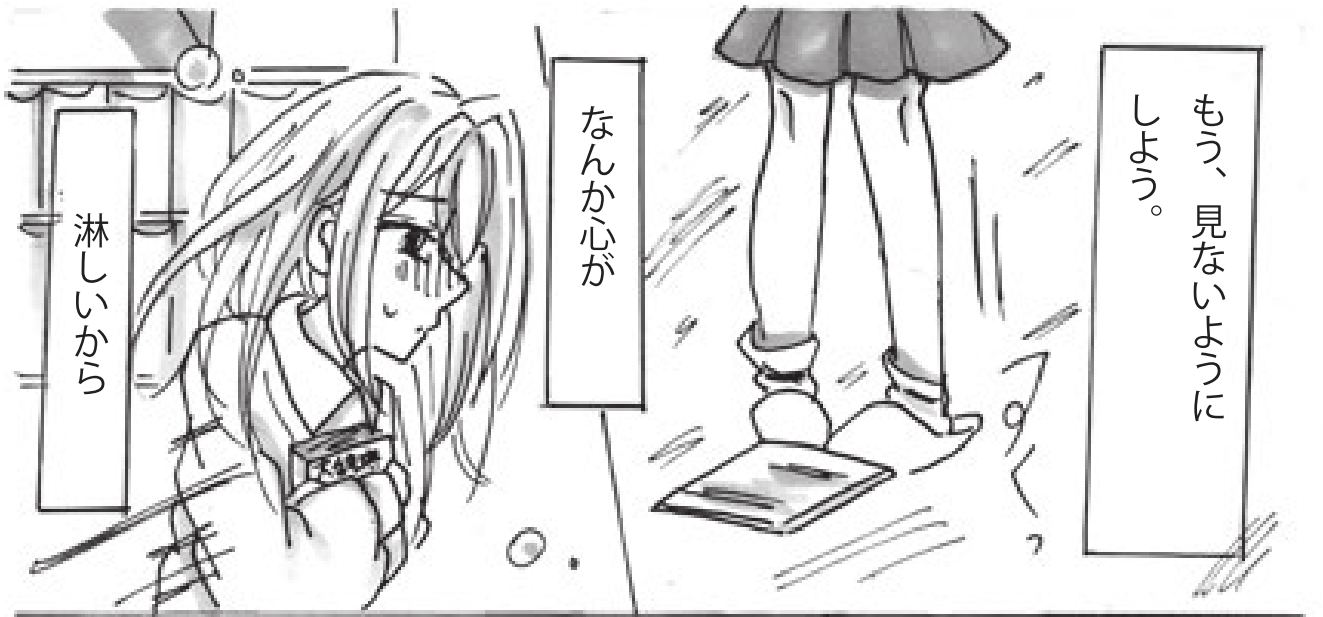
なんで…私、今。

いや…だったんだろう。



S

中学生
ストーリーの部





S
中学生
ストーリーの部

トクン

あ

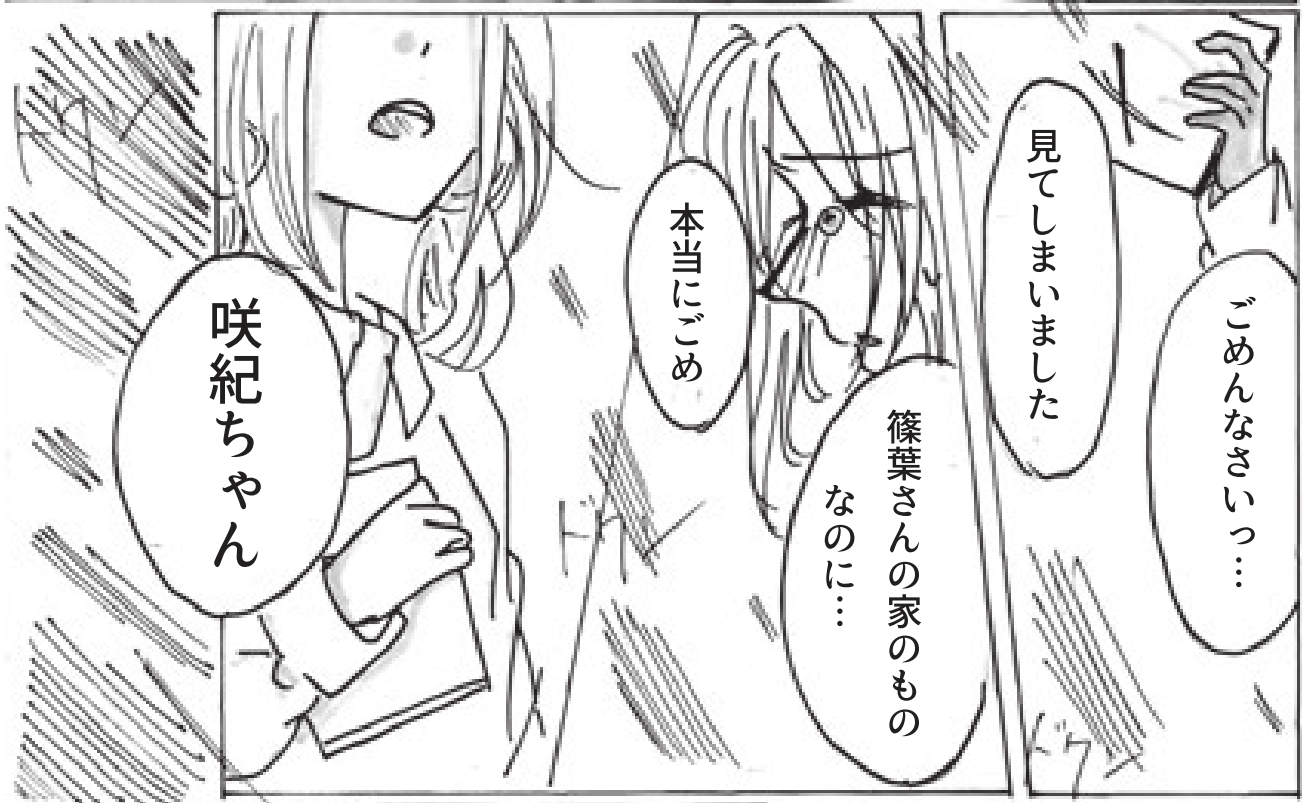
えっと

えっ…

トクン

ぎゅッ

トクン



咲紀ちゃん

本当ごめ

篠葉さんの家のもの
なのに…

見てしまいました

ごめんなさいっ…



へ…


?



あやまるのは、私のほうよ。




だってこの日記は
あなたにむけた日記
だもの。



この日記の持ち主、
天音くんは元この家の
管理者だった。

まだ17才だったのに


その負担と持病で…。



このことは咲紀ちゃんに
知られたくなかった。

だから…

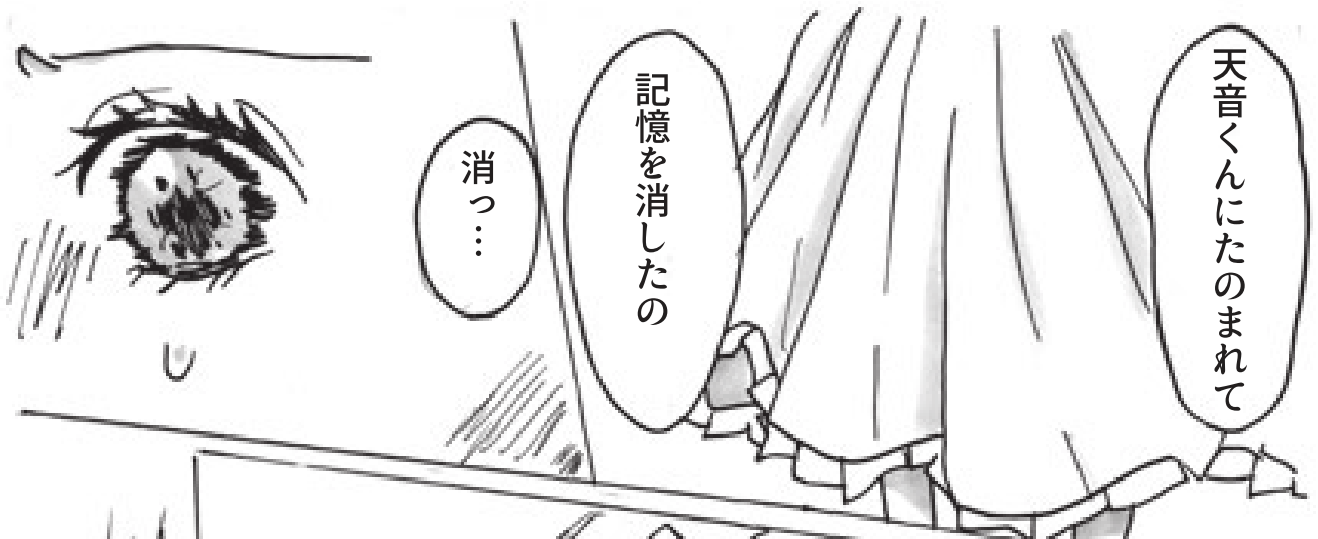
あのっ…



よく、分からない。
どうして私に知られたくなかつ
たんですか？

私、天音くんとはあったこと
ないのに…

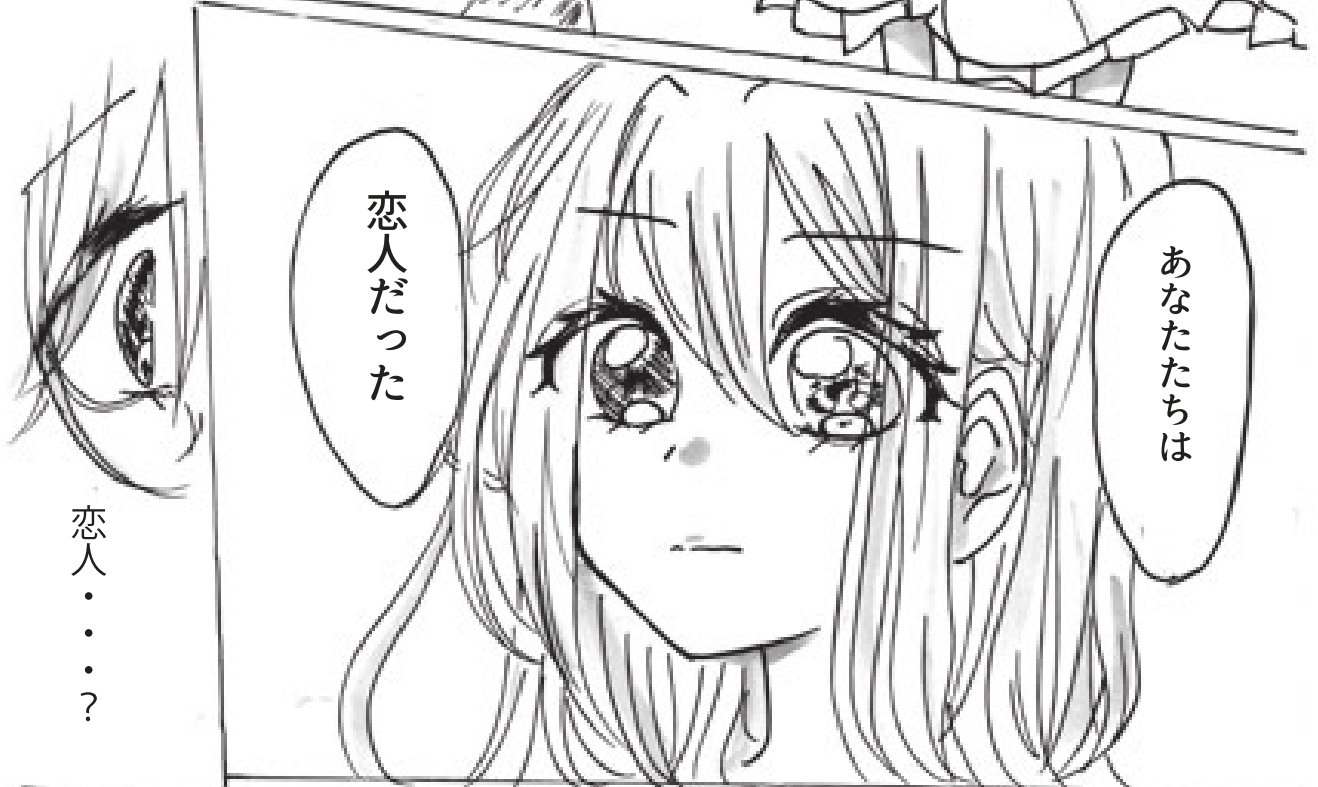
…そのことを、あやまりたかったの



天音くんにたのまれて

記憶を消したの

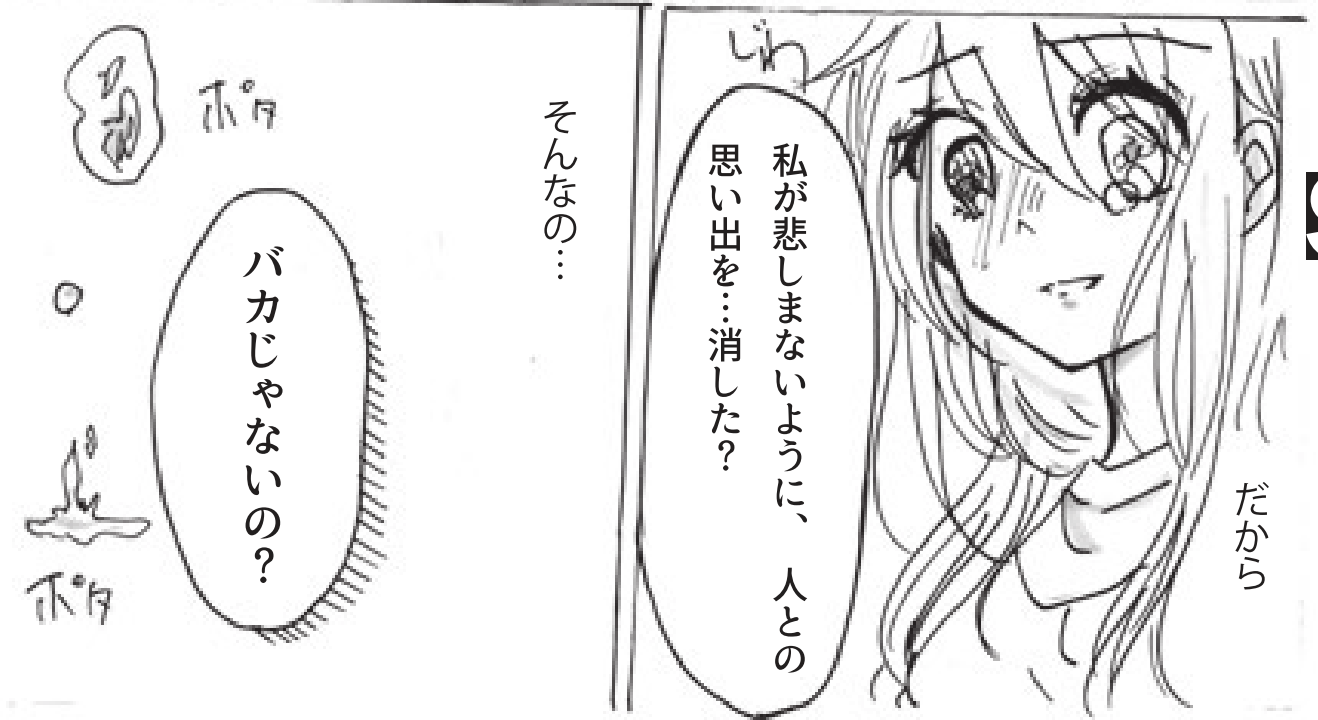
消っ…



あなたたちは

恋人だった

恋人……？



だから

私が悲しまないように、人との
思い出を…消した？

そんなの…

バカじゃないの？



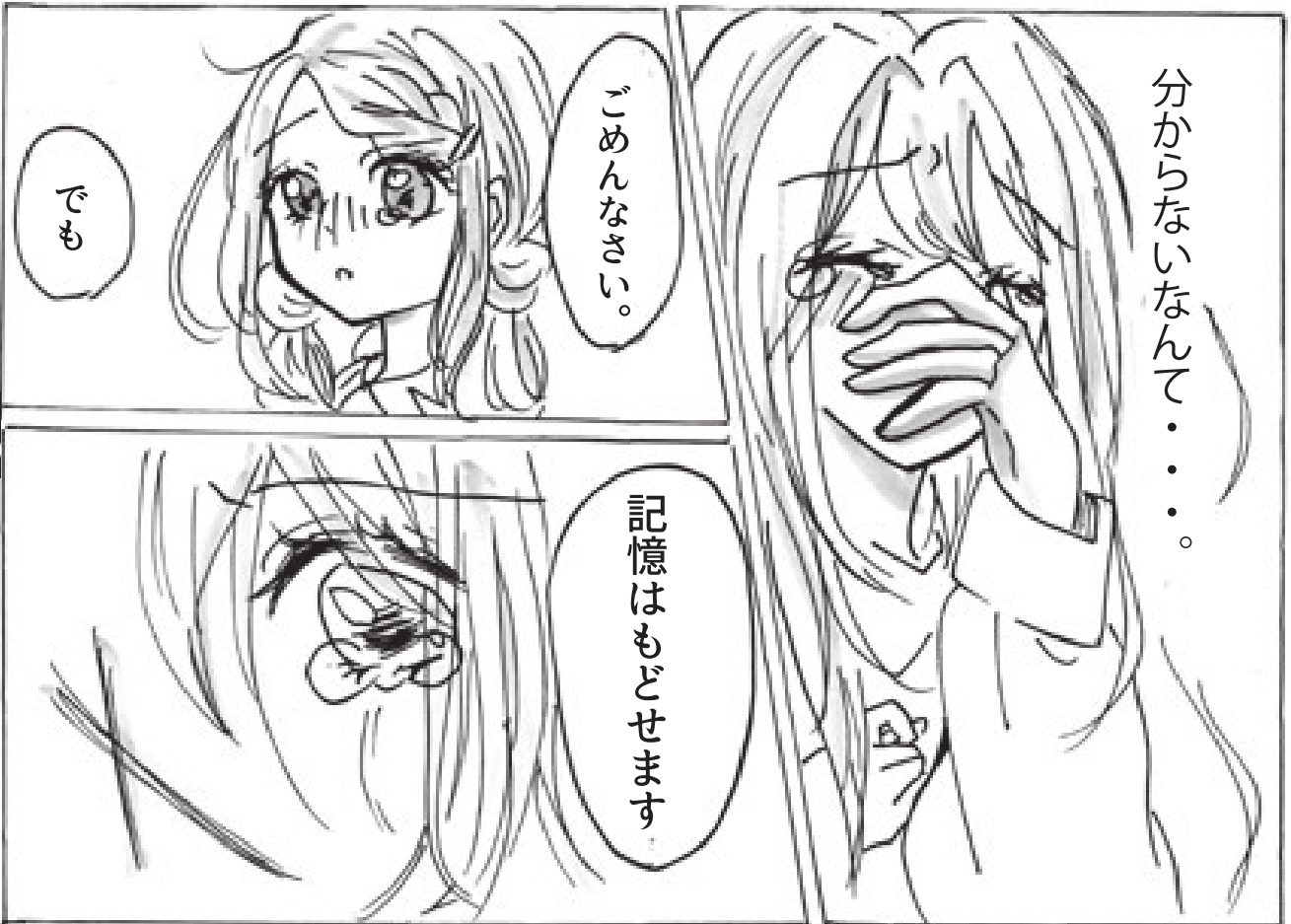


そっちのほうが

悲しいじゃん

好きな人の

声も、
においも、
顔も



分からないなんて……。

ごめんなさい。

でも

記憶はもどせませす

S

中学生

ストーリーの部



もっと苦しむかもしれない。

本当にいいの!?

咲紀ちゃん。



それでも私は
思い出したい
です。

…でも



大切な人との思い出を
無かったことにしたくない。

分かる



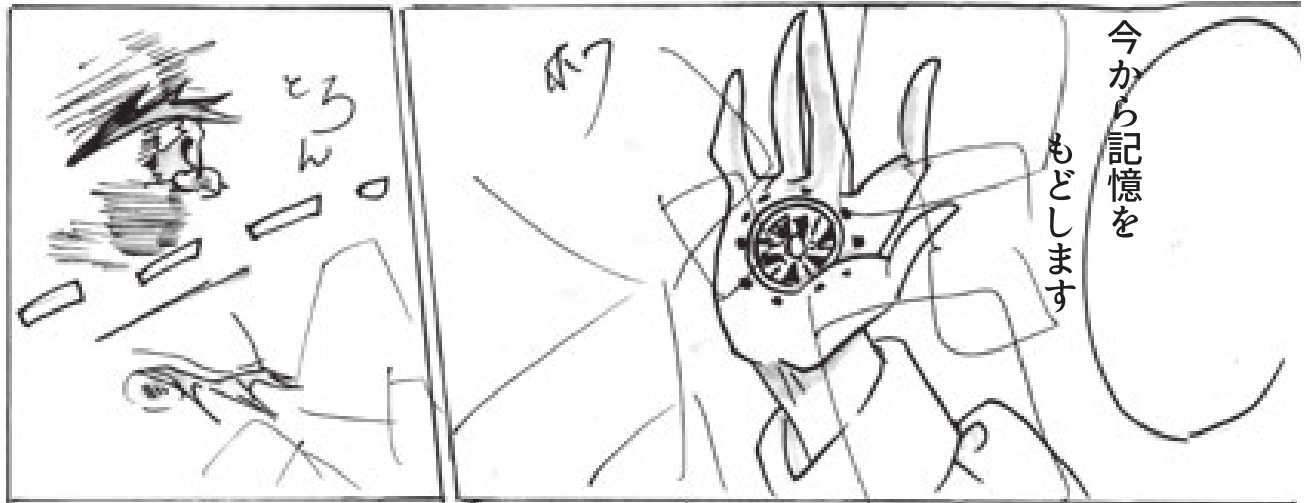
分かったわ

感じるから。

覚えてなくても
天音が大切
だって

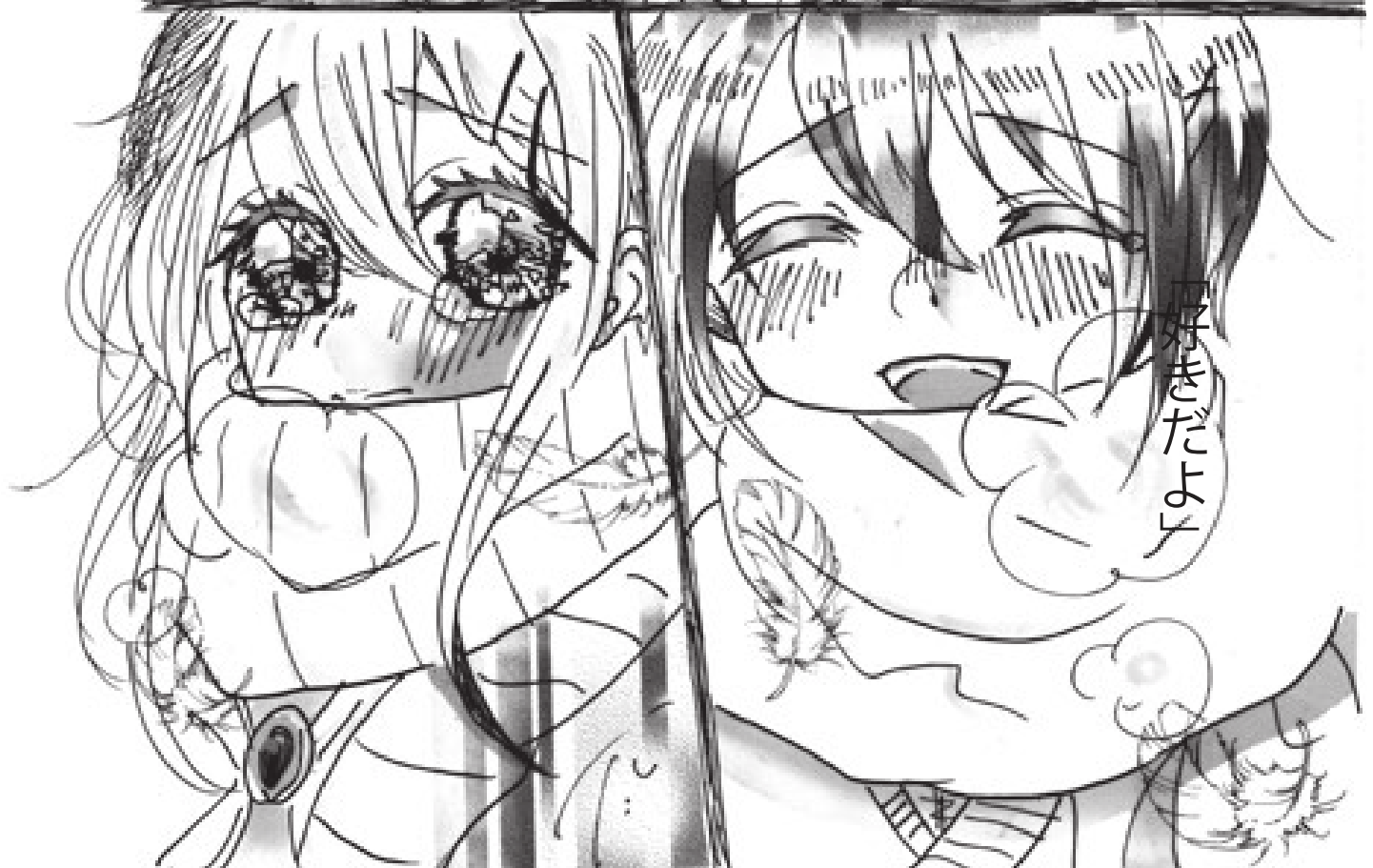
S

中学生
ストーリーの部



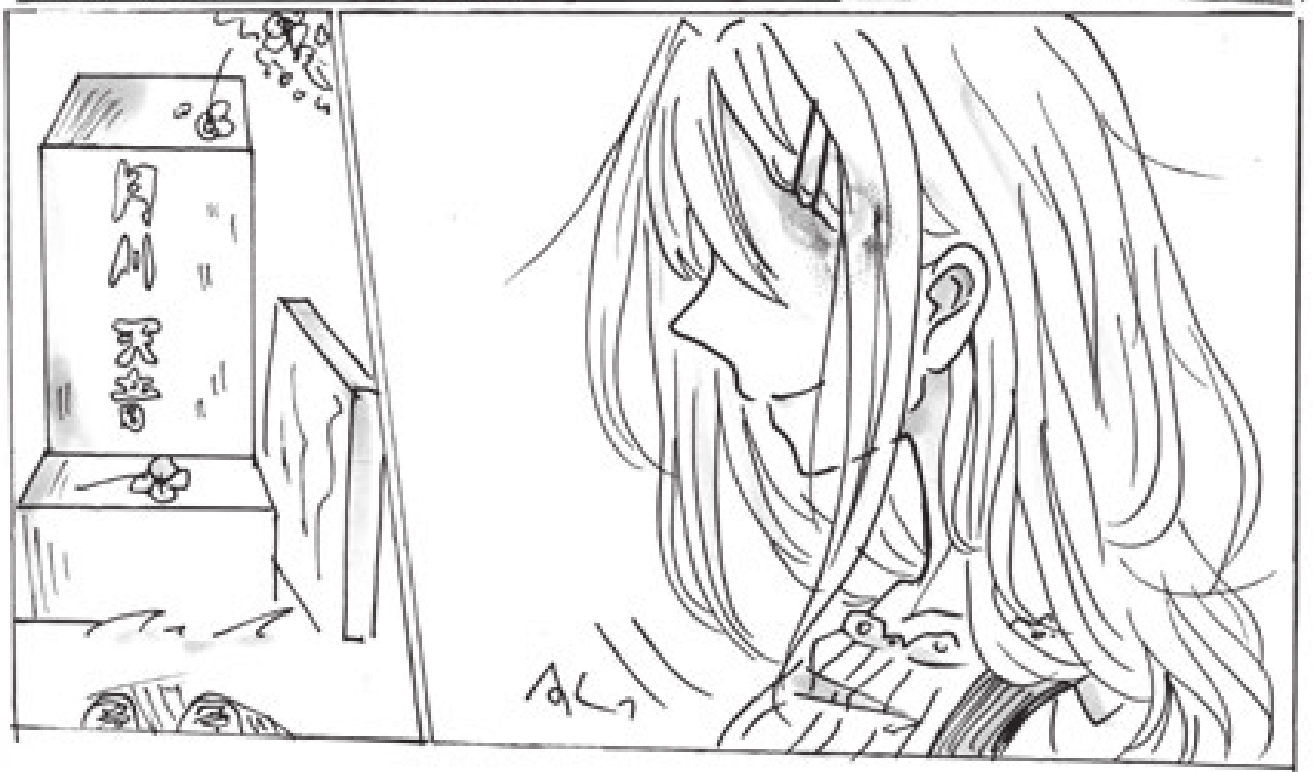
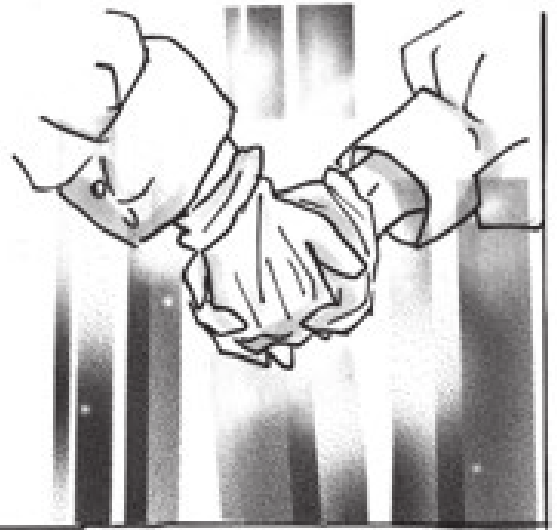
「咲紀」

「紀」



「おまただ」

「私も、好き。」



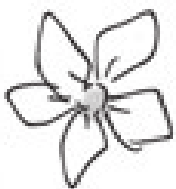
天音、

春になったね。

桜が、きれいだね。

私ね、魔法が使えるように

なったんだ。



4カ月前も、

今も、

この先ずっと

咲紀ちゃん。

篠葉さん。

好きだよ、天音。

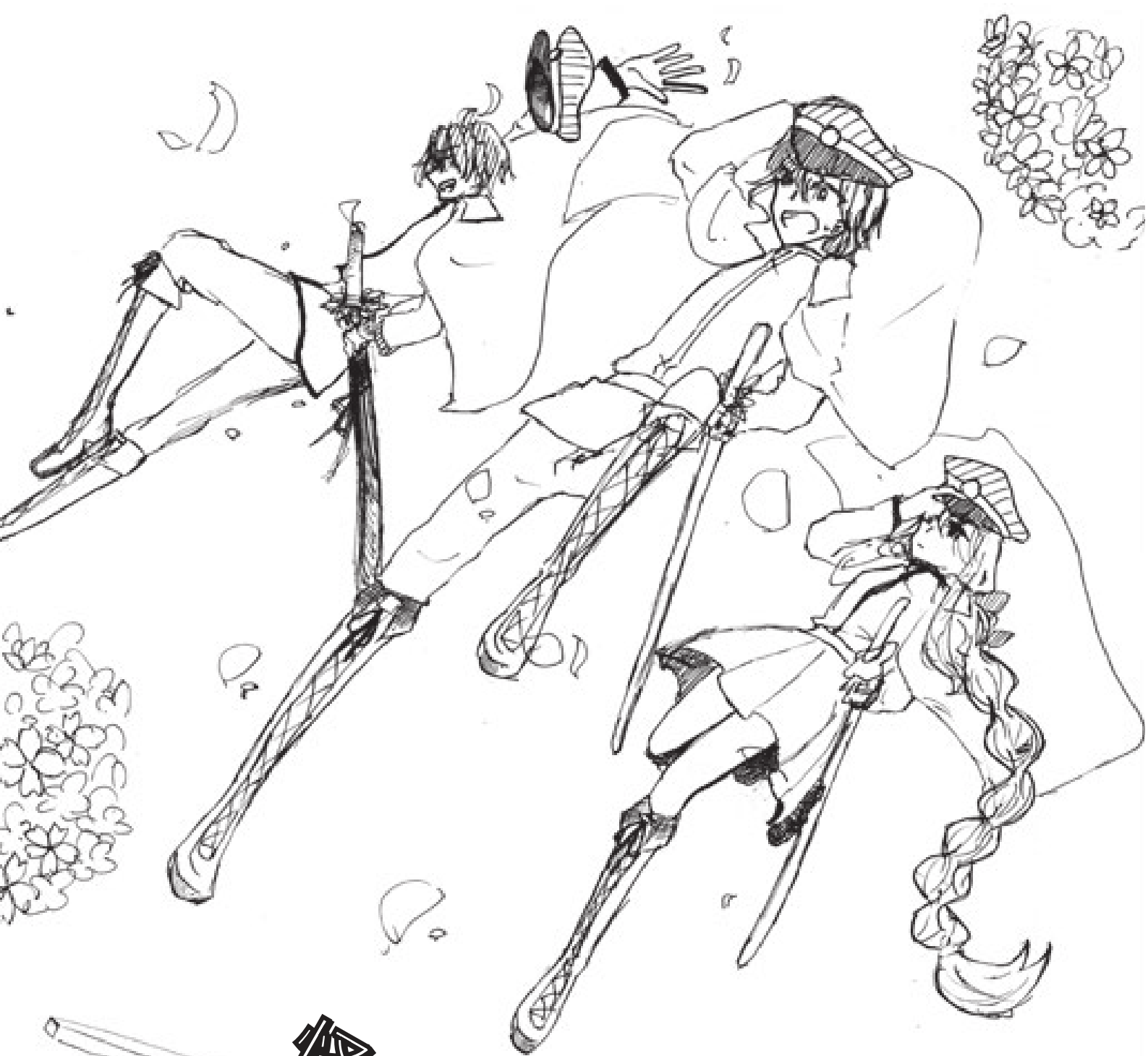
S

中学生
ストーリーの部



あなたを忘れない

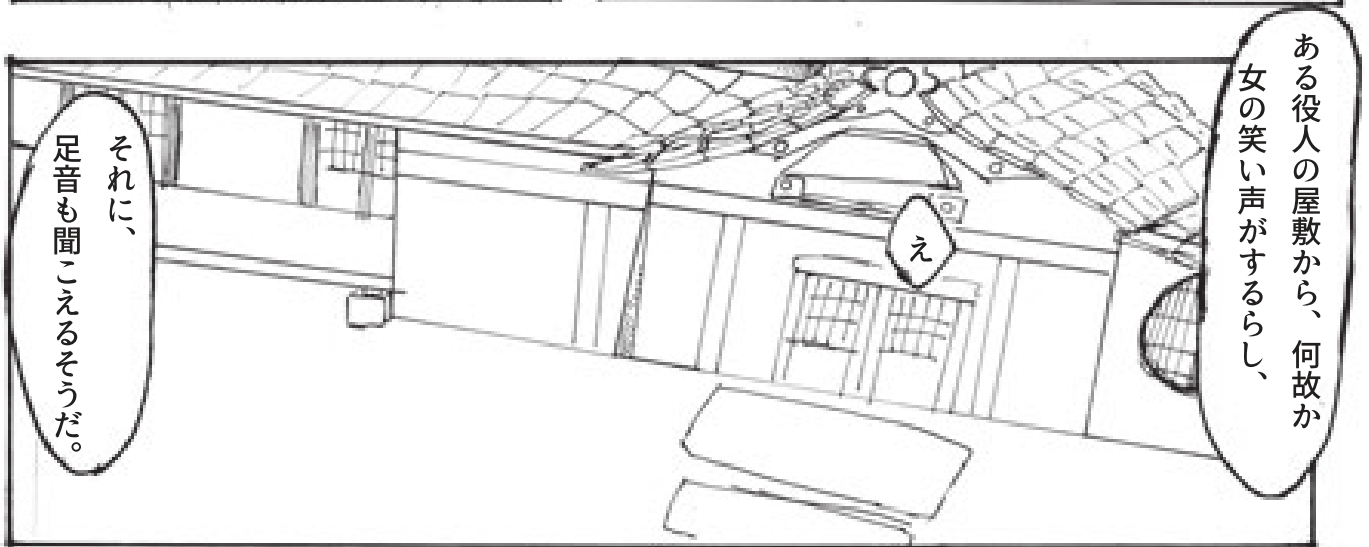
【コメント】 え絵も上手ですし、じょうず話もちよっとせつなくておもしろかったです。このまま描き続けていったらどん
どんうまくなると思おもうのでがんばってください。

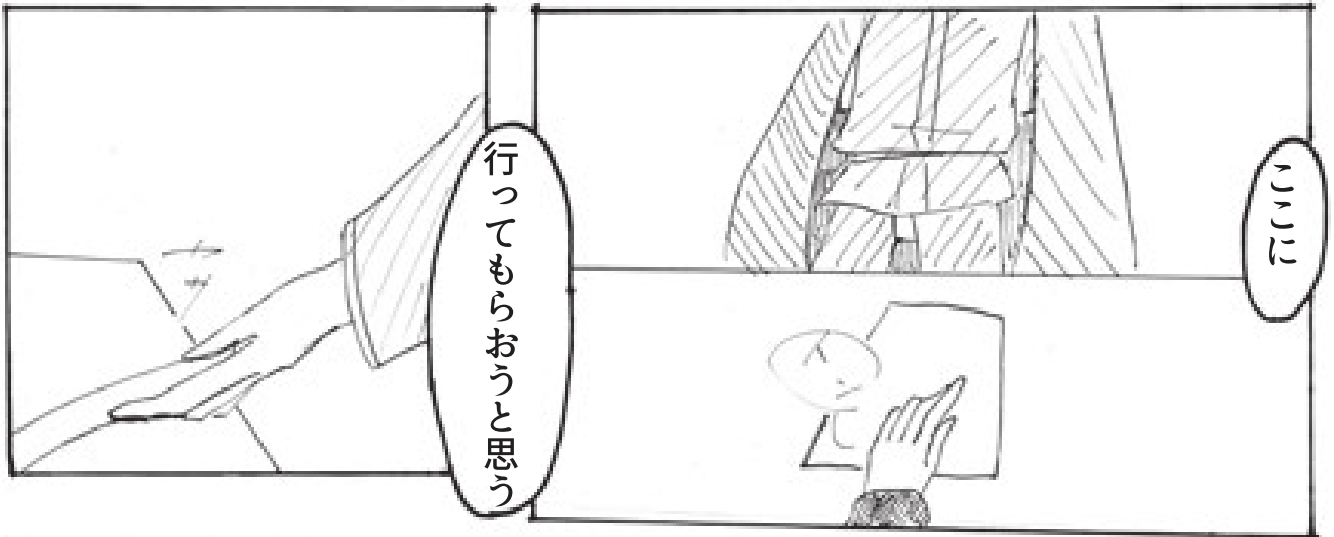


怪奇現象を
つきとめろ!

学年：2年生 ペンネーム：桜花

「怪奇現象をつきとめろ！」





行ってもらおうと思う

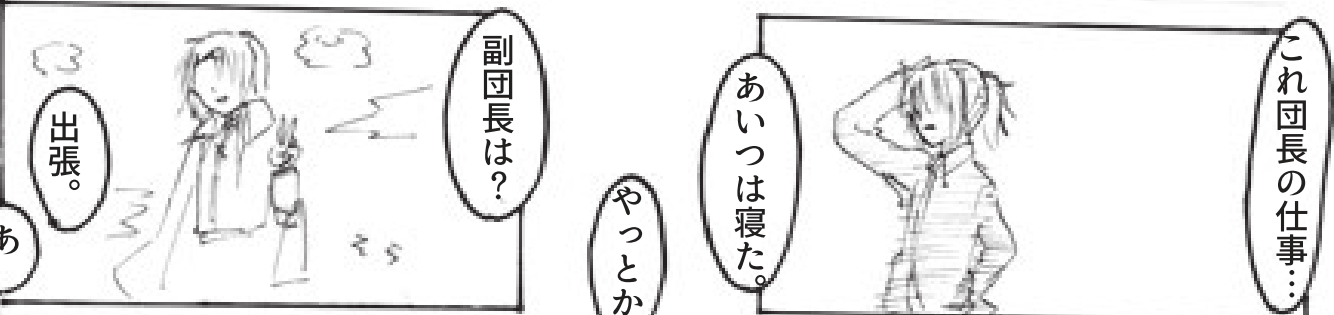
ここ



調査依頼
・調査の依頼
・調査の依頼
・調査の依頼
・調査の依頼
・調査の依頼

女子の声に...
刀の感覚...?

えーと



出張。

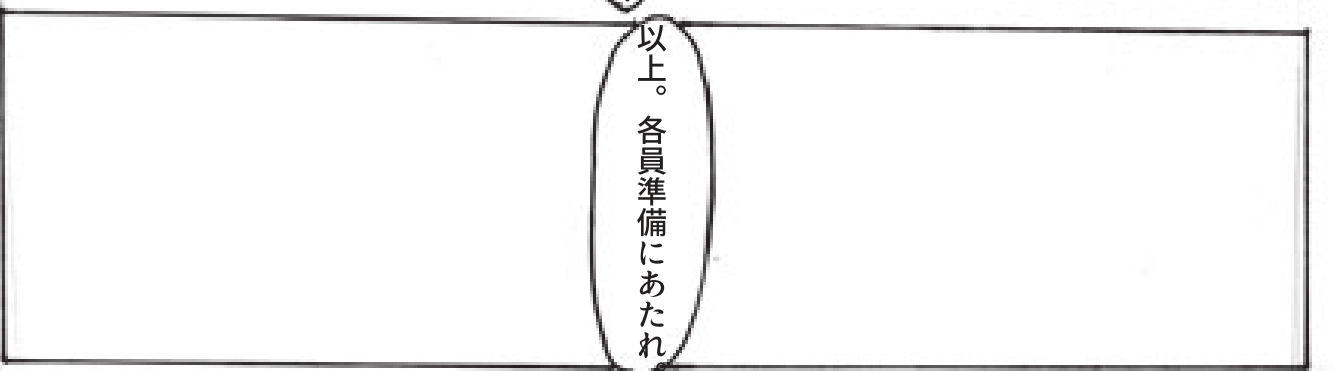
副団長は?

あ

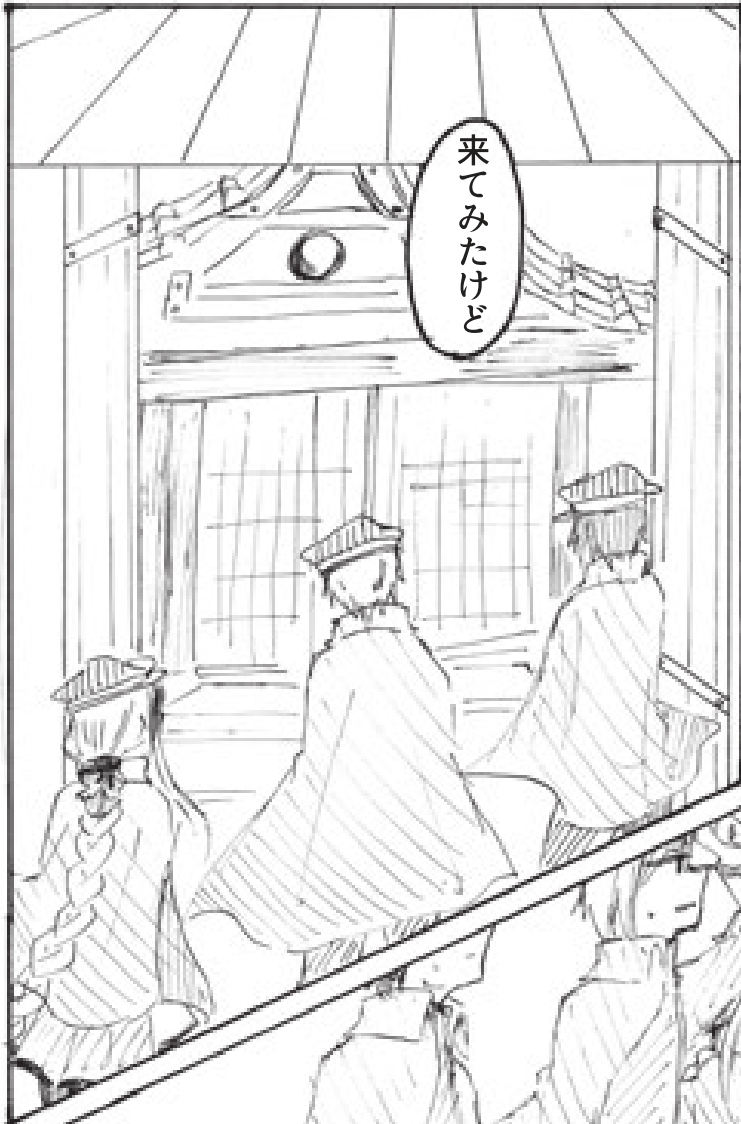
あいつは寝た。

これ団長の仕事...

やっとか:



以上。各員準備にあたれ



来てみたけど



デカくね...?



ウエウエ...

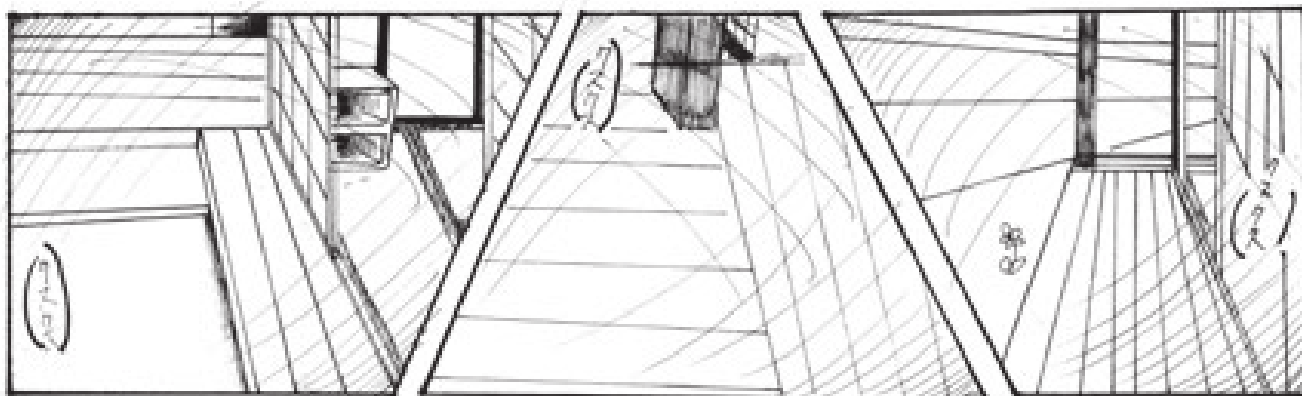


入ってみるか...

...

S 中学生
ストーリーの部

誰だ





有馬

ハイッ

私は中庭へ行く
お前達は中の探索をしてくれ

は!?



何言って…

大丈夫

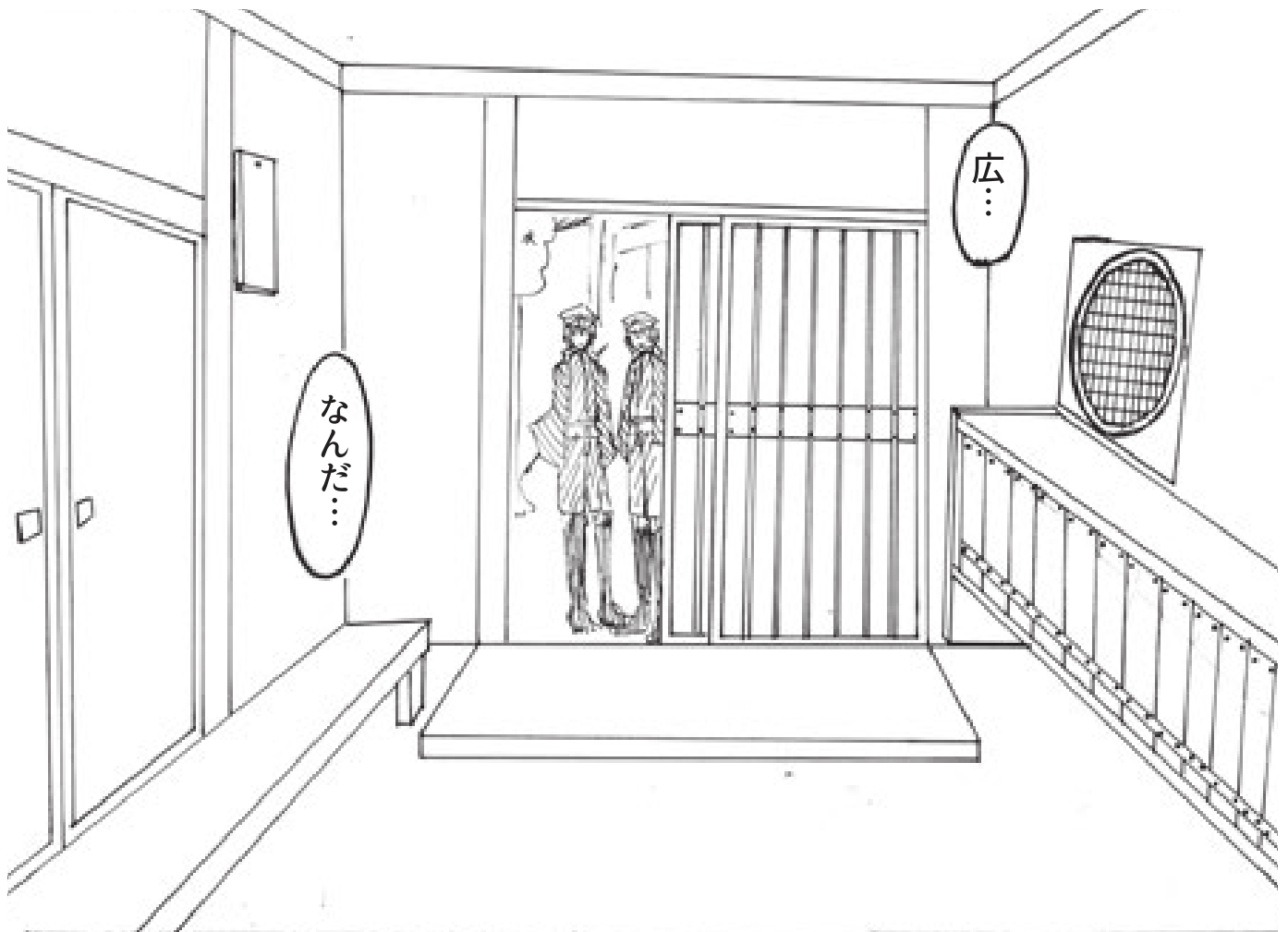
私を信じて



イケメン…

とつとつ行くぞー

アツ待って





壊すなよ

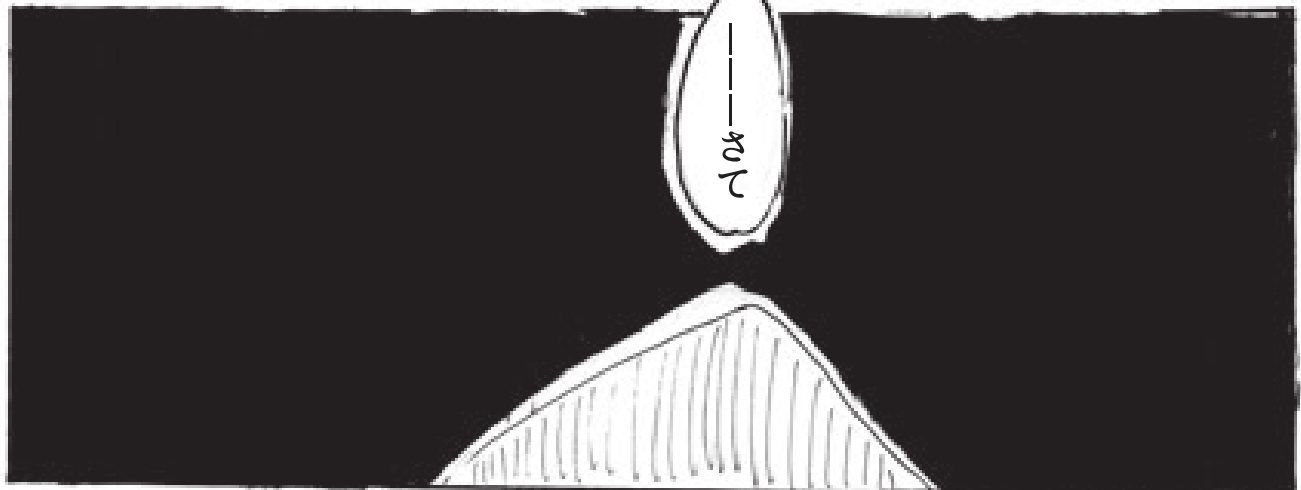


お前に言われ
たかねえよ



有馬、先に行ってくれ

あ？あー……

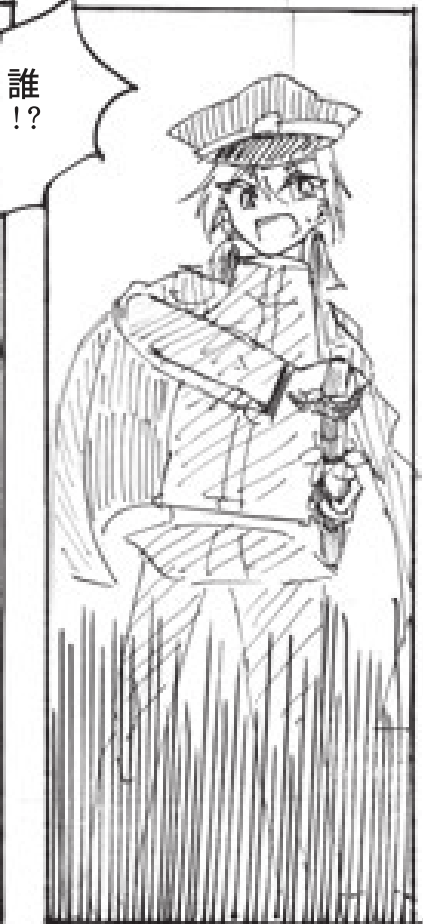
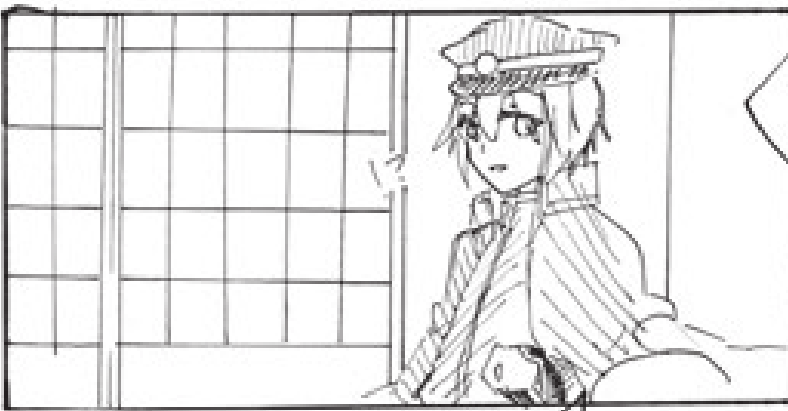


……さて



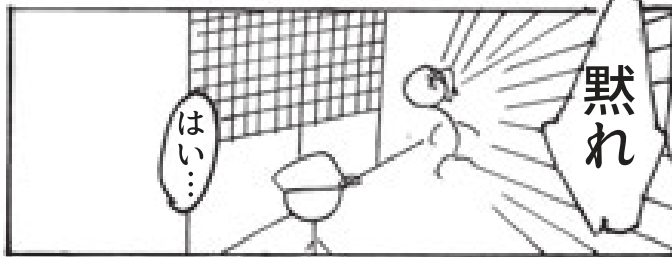
ぶった切る

きつと切らさ

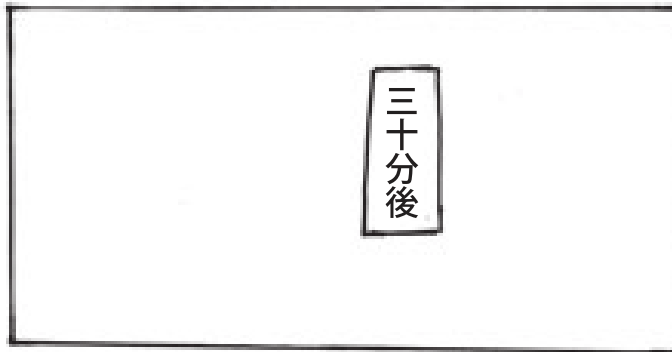




急に戦闘しかけて

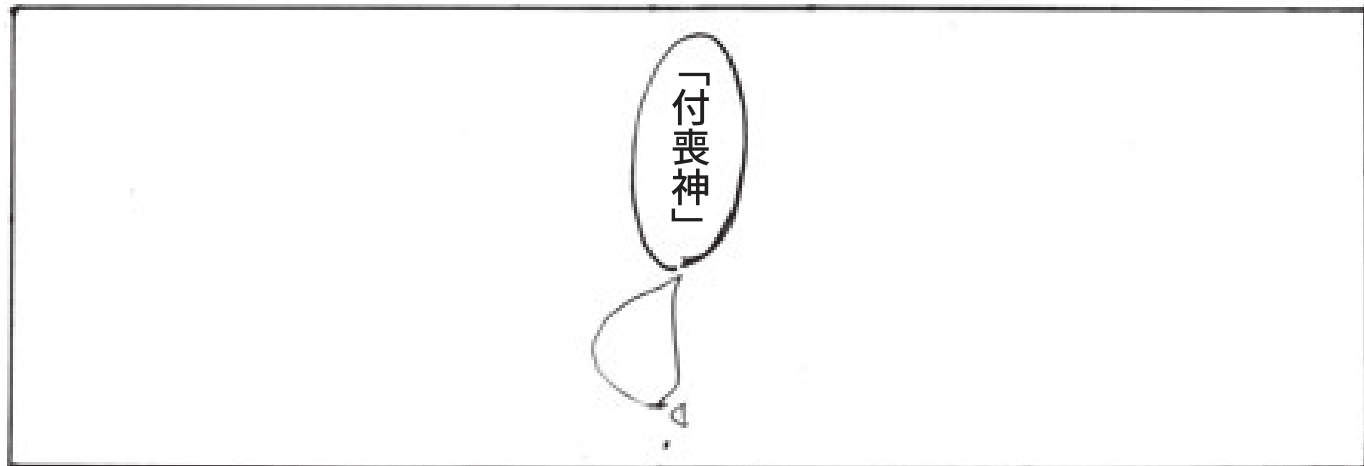


黙れ



S

中学生
ストーリーの部





お呼びでしょうか

主様



有馬

アッ!?



これ

what?



面倒事もってくるんじゃない

ねえよ





ふええ

.....



えっと



きよみグエツ

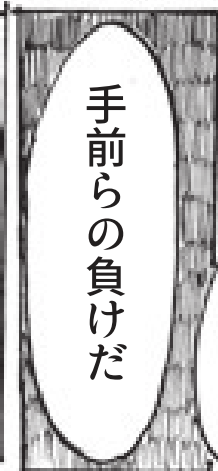
霊力たっか:

顕現しちゃったかー~~~~



……。

——っていうかんじで



手前らの負けだ

「全て捕まえたら仲間になる」って



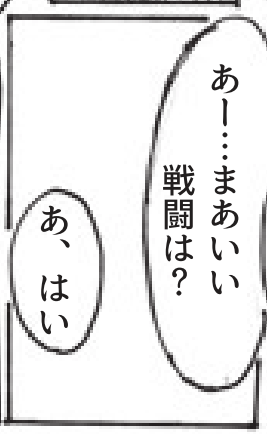
さて、約束したよな



けれど途中でやめたらしいです

はん…

ありました。



あ、はい

あー…まあいい戦闘は？

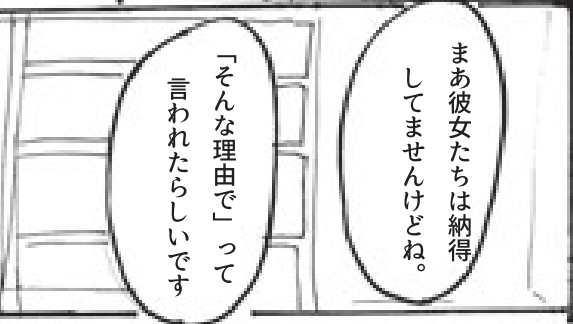


まて

こうなりました



は……！……



まあ彼女たちは納得してませんけどね。

「そんな理由で」って言われたらしいです



……苦労。

んんん…
まあいい。うん。



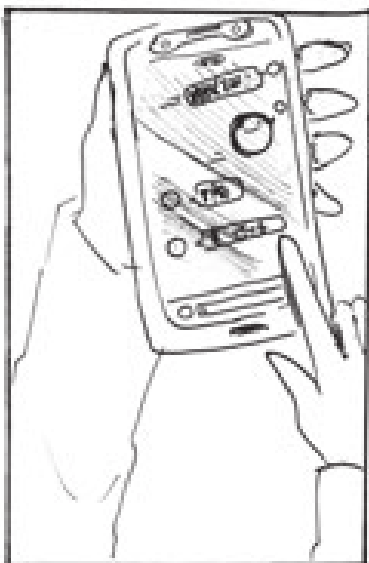
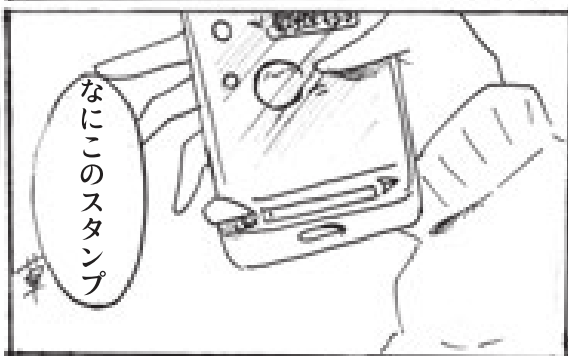
……あそこ元々拠点だったんだよ
人員増えてこっち来たんだっけ…

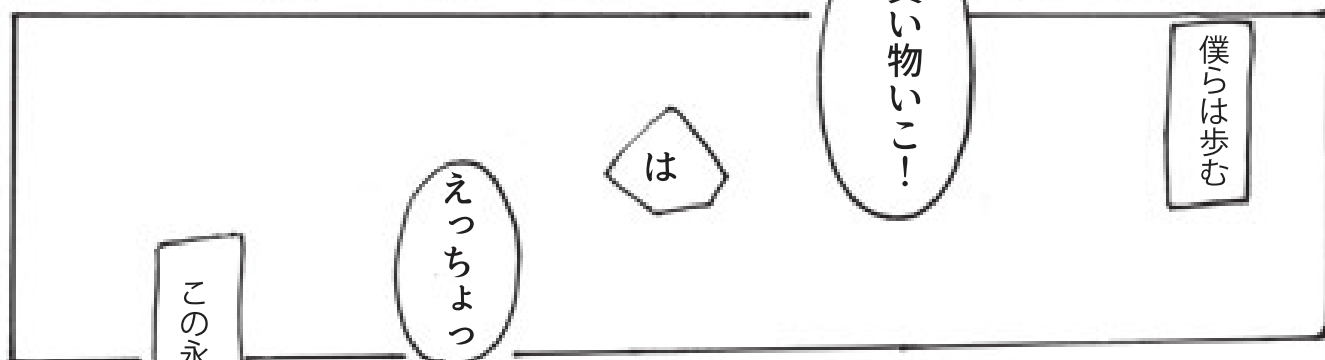


あま……

では……

？





新しい仲間と共に

この永い道を

えっちよっ

は

買い物いこー!

僕は歩む

S

中学生
ストーリーの部





有馬 禎見
ありま てるみ

17歳の高校2年生。
今日の話の主人公。



穂借 維祐
ほかり じゆう

17歳の高校2年生。
主人公と77又41。
元ヤン。



柊月 有恋
はづき ありこ

年齢不詳。
主人公と関わりが深い。



杯末 来
さかづき くるみ

全の長。年齢不詳。
柊月家と深い関係が
あるらしい。

Thank you for watching!

see you somewhere again.

good bye.

(見てくださりありがとうございました!)
おたのしみでした。
またね。)

大和中安
おほなかつやす



【コメント】話の流れの中で3人それぞれの性格が描けていますね。そこは素晴らしい。ただ同じような格好をしているぶん、もっと顔にも特徴を持たせて描いたほうが良いと思います。